

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.3〉

〈小羽山④ 散策マップ〉

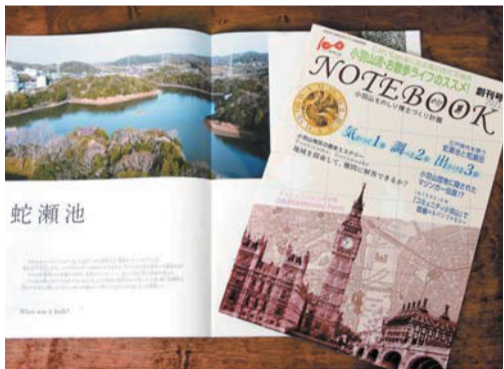
小羽山地区コミュニティ推進協議会の「小羽山ものしり博」土づくり計画「運営協議会」は、地域の景観や史跡に親しんでもらう散策コースを考案した。小羽山ふれあいセンターを発着点とする約4キロのコースで、1970年代前半に放送されたテレビアニメ「マシンガール」の頭部にも見える調整池のダムや、樹木のトンネルを抜ける「幽霊坂」など15のスポットに立ち寄れる。



！ 地面がすべりやすいのでご注意ください。

ロボットに見えるダム壁や幽霊坂

史跡、寺社が点在



蛇瀬池

SAKIIDORIプロジェクトの真部尚志さんと宇部マニアックスの山本健二さんが、実際に地域を歩いて行程を考えた。真部さんは「普段、何気なく見ている風景から、地域の歴史を想像してもらおうきっかけになれば」と話している。同協議会が昨年度に発行した

地域誌の中でも一部が紹介されている。同センターから南に進み、小羽山墓地方面に向かう道との分岐点にあるのが「鳴水の道標」(1)。すぐ近くには、ダムの壁の穴がロボットの頭部のように見える愛称「オバヤマシンガール」(2)がある。次に通過するのは牛転び坂(3)。宇部護国神社へと抜ける急な坂道で、そこを過ぎると幕末の鳥居(4)、約120年前に造られた明治の鳥居(5)に立ち寄れる。江戸時代からの道筋を保つ細い市道(6)を進むと、鎌田橋から小串台へと上がる崩(くずし)の坂がある(7)。崩し山が名称の由来で、樹木のトンネルを抜けることから「幽霊坂」とも呼ばれている。鵜の島に水を

送る尾崎用水路(蛇瀬池用水路)(8)を過ぎると、1670年に建てられた宗隣寺(9)が見える。龍心庭は県最古の庭園で、国の名勝でもある。かつて同寺の参道から真締川を渡る橋が架かっていた橋の跡(10)からしばらく進むと、琴崎八幡宮につながる道の途中に友田坂(11)がある。無縁仏を供養するため1831年に建てられた広田のお地藏さまと庚申塚(12)を経て、小羽山小近くにあるのが厚東川の水を常盤池まで送る常盤用水路(13)。蛇瀬池の周りには池の排水路に架かっている石橋(14)、関係者や団体の名前が刻まれた改修記念碑(15)が残っている。

次回は見初地区。12日スタート。